

後援会だより

「子どもの母校は我が母校」
後援会が保護者の皆さまと作るページです。

※()内はお子さまの名前/学部

首都圏父母懇談会報告

市ヶ谷キャンパス



細谷 智美
副実行委員長
(経済/人間環境学部)

10月12日(日)「法政―新時代へ!!
紅葉の外濠。家族そろって法政大学」と題しまして大学および学生協力のもと市ヶ谷キャンパスにて首都圏父母懇談会を開催いたしました。
毎年恒例の学生によるキャンパスツアーをはじめ漫画研究会による似顔絵サービス、児童文化研究会によ

る人形劇、どれも好評で学生達の息吹を感じました。また普段見ることのできない「能楽研究所」の特別見学会も行われました。

今年には横内正雄学生センター長が「大学生活を充実したものにするため」と題し講演した後、留学生スピーチコンテストの入賞者2人のスピーチを聞き、法政大学のグローバル化の一面を垣間見た気がいたしました。また、日頃学生たちが利用している食堂を2カ所開放し、ご来場の方々にランチを楽しんでいただきました。
台風接近で開催が危ぶまれましたがお天気が崩れることなく、また工



横内先生の講演



学生による似顔絵コーナー



学生による人形劇

事中に伴い迷路のようなキャンパス内ではありましたが多くの方にご来場いただきましたことを感謝申し上げます。

皆さま、最後にご協力いただきました大学の教職員の皆さまならびに関係者の皆さま、ありがとうございました。

多摩キャンパス



赤木 修
副実行委員長
(良輔/スポーツ健康学部)

したが、お越しになられた皆さまに均等な機会をご提供するという結論に至りました。来年に向け改善を要する点はあるものの、多くの皆さまにご利用いただくことができたので、見直して良かったのではないかと考えます。

また、全体会についても内定者の方に協力をお願いし、こちらも初めて、就活についてのパネルディスカッションを実施しました。父母の皆さまのご関心も高い就職活動について、内定者の経験談を直接聞くことができたのは色々な面でご参考になったのではないのでしょうか。

10月18日(土)爽やかに澄み渡った秋晴れの下、「2014年度多摩キャンパス 首都圏父母懇談会」が開催されました。本年度のテーマは「学び×自然×多摩キャンパス」。好天に恵まれたこともあり、父母の皆さまには、都心のキャンパスとは一味違う豊かな自然に囲まれた広大な

その後の学部別懇談会や懇親会もつつがなくまた和やかに進み、限られた時間ではありましたが、日頃接することの少ない教職員の方々と直接コミュニケーションがとれたのは父母の皆さまにとって貴重な機会になったことと思われま

とはいえ、お天気に恵まれ、お越しになった皆さまに深まりつつある多摩キャンパスの秋をご満喫いただけたことが本年度の何よりの成果であったのではないのでしょうか。
末筆になりましたが、父母懇談会の開催および運営に関して多大なご協力を賜った大学関係者の方々、



学内巡回バスでキャンパスを見学



バスの中では学生が説明



学生が施設を説明

学生の皆さんおよび多摩キャンパスまで足を運んでいただいた父母の皆さま

さまに対し、心より御礼申し上げます。

小金井キャンパス



近藤 清司
副実行委員長
(あい/情報科学部)

10月19日(日)小金井キャンパスにて、「見に行こう!ふれてみよう!未来へつなげるテクノロジー」をテーマに首都圏父母懇談会を開催しました。当日は、晴天に恵まれ、418人の方々に参加をいただきました。

午前中は、個別相談、マイクロナノテクノロジー研究センター見学、キャンパス見学ツアーを行いました。小金井キャンパスは、今年、開設50周年の節目の年でもあり、午

後から東館体育館で行われた全体会では、田中優子総長に出席をいただき、「世界のどこでも生き抜く力」と題し講演をいただきました。
続いて行われた就職説明会では、キャリアセンター事務課長より「就職状況とキャリアセンターの取り組みについて」、学生3人より就職活動体験談のお話をいただきました。

熱の入ったお話をいただき、ご父母の皆さまも熱心に聞かれました。就職活動については、まずキャリアセンターに相談に行くこと、学生さんからは、内定をもらうまでの取り組み、家庭内でのサポートの仕方など具体的な内容に改めて我が子を信じ対処することが大事と認識しました。

その後、学科別説明会が行われたあと、締めのお懇親会を学生食堂で行い、学科ごとのテーブルで先生方とお話ができ、途中に、理工学部ロック研究会の演奏があり、心地良い雰囲気の中で、最後まで話が尽きない

会でした。最後になりますが、父母懇談会に参加していただいたことに感謝申し上げます。また、ご協力いただきました教職員の皆さま、ならびに関係者の皆さまに深く御礼申し上げます。



職員の説明によるキャンパス見学



田中総長の講演



ロック研究会による演奏

支部長懇談会・支部長会議報告



総務 鶴巻 義久
(郁恵/G1S)

11月7日(金)、8日(土)、全国36支部の支部役員にご参加いただき、支部長懇談会および支部長会議が開催されました。11月7日(金)市ヶ谷キャンパスポアソナード・タワー26階の「スカイホール」にて開催された支部長懇談会では池田隆会長のあいさつに続き、本部支部委員より、法政大学後援会の歴史、支部の現状、会に先立ち実施された支部長アンケートの集計結果を報告いたしました。支部活動報告としては、支部周年事業について、宮崎県支部、福井県支部、広島県支部、関西支部の4支部長から発表が行われました。また、山形県支部からは会員親睦行事の芋煮会について、鹿児島県支部からは



今年の帰省した学生同士の学生交流について、宮城県支部からは父母懇談会で個別相談をやめたこと等の報告がされました。

11月8日(土)には支部長会議が58年館の教室で開催され、池田会長のあいさつに続き、廣瀬克哉常務理事にご講演をいただき、本部支部委員より、支部総会の総括報告、後援会の新しい取り組み、支部総会の課題等の報告をいたしました。その後、36支部を5グループに分け、支部長・支部役員の方々と本部役員とのディスカッションが行われました。支部総会の参加率の向上や支部予算、校友会との関係等の重要な課題に対しての意見交換を通して課題の共有が図れたと考えています。この場を借りて、日頃各支部において熱心に後援会支部活動を行っていただいている支部長をはじめ役員の方々に御礼申し上げます。

総長・学内理事と後援会運営委員との懇談会報告



総務 小林 章
(優生/生命科学部)

11月26日(水)市ヶ谷キャンパス九段校舎5階「会議室」において、総長・学内理事と後援会運営委員との懇談会が開催されました。後援会が、大学や学生の現在の状況、及び大学のこれからのあり方、取り組み等について、直接大学と意見交換する機会として、毎年行われています。大学側からは田中優子総長と常務理事・理事の方々等計9人、後援会側は池田会長以下運営委員8人と事務局長が出席しました。後援会から予め提出した質問事項(スーパীগ



ローバル大学創成、大学のブランド・広報戦略、キャンパス再構築、学務(成績・スポーツ関連等)について、総長・担当理事から説明をいただき、意見交換を行いました。

本年9月「スーパীগローバル大学創成支援事業」に採択された法政大学が、日本発のサステイナブル教育の確立と発信を通じて、社会のグローバル化を牽引する大学を目指すために、今後どのように大学改革を進めていくのか、併せて大学のブランド力強化・向上に常に努力されている状況をとても良く理解することができました。後援会としても、大学の取り組み・方向性・姿勢を理解・支援し、より良い学びの場の実現に一層協力していきたいと思っております。



「学部長・後援会役員懇談会」報告



総務 中村 恵吾
(建斗/理工学部)

11月8日(土)市ヶ谷キャンパスにおいて「学部長・後援会役員懇談会」が開催されました。当日は、大学からは廣瀬克哉常務理事をはじめ、15学部すべての学部長・学生センター長・関係職員の皆さまにご出席を賜りました。後援会からは池田隆会長以下多数の役員の方々と、さらに全国からお集まりいただいた36支部の支部長・支部役員に参加いただきました。

会に先立ち、11月3日(月)に急逝された故金井久学生支援統括本部長(後援会常任参与)を偲び、またその功績をたたえ、出席者全員で黙とうをささげました。

池田会長は冒頭のあいさつの中で9月26日(金)に採択が決まった「スーパীগローバル大学創成支援」に触れ「さらにグローバル化を加速する法政大学に、後援会としても支援強化をすすめていきたい」と述べられました。

また廣瀬常務理事からは「大学職員の支部出張は限定的なメンバーでの情報交換となってしまうが、今日のこの場合は15学部の全体像をつかみ

ながら質疑応答ができる貴重な場であるので、有効に活用していただきたい」とのごあいさつを頂戴致しました。

学部長との懇談会では、夏に各支部で開催された支部総会・父母懇談会等で寄せられた多岐にわたる質問に対し、各学部長より懇切丁寧にご回答・ご説明をいただき、出席者全員が真剣に耳を傾けている姿が印象的でした。出席した後援会役員が、大学現状や構想を一同に情報共有でき、大変価値のある有意義な会合であったと思っております。



法政大学交響楽団定期演奏会の報告



常任幹事 高木 正裕
(信裕/理工学部)

11月9日(日)に、法政大学交響楽団第132回定期演奏会を聴くために東京芸術劇場に行つて参りました。コンサートホールの素晴らしい音に、久しぶりに、軽快な音楽の中に重厚な響きを持った、清々しい演奏を聴くことができました。今まで、体育会系クラブの活躍に目が行きがちだった気がしますが、文化系クラブの皆さんも、交響楽団の皆さんに限らず、本当に頑張っています。今回の演奏曲目は、ヨハン・シュトラウス2世の「こうもり」、チャイコフスキーの「くるみ割り人形」、「交響曲第4番」、さらにアンコール曲として、オフエンバックの「天国と地獄」といった曲目で、クラシック好きの方ばかりでなく、誰もが一度は聞いたことがある曲ばかりなのではないでしょうか。曲の素晴らしい音も、もちろんですが、交響楽団の皆さんの素晴らしい演奏に、今まで何回か聞いていたはずのこれらの曲にも新鮮な響きを感じることができました。まだ、一度も聴いたことがない方は、ぜひ一度お聴きになってみてください。約2000人の座席は、ほぼ満席状態でしたが、まだ未体験の方は、次回の演奏会に足を運んでいただき、一緒に演奏会を盛り上げていきましょう。これから新たに聴かれる方にも、きっと新鮮な感動があることと思います。

「携帯メール情報」の配信案内

法政大学後援会は、メールマガジンを発行しています。六大学野球、ラグビーや箱根駅伝などのスポーツ情報、講演会などイベント情報を提供しています。一人ひとりの力は小さくても、一致団結して盛り上げていきましょう。配信ご希望の方は、下記アドレスへ「メールマガジン配信希望」とお書きになり、登録されるメールアドレスをお送りください。
koenkai-reg@ml.hosei.ac.jp



後援会ウェブサイトのご案内

URL:<http://www.hosei-koenkai.org/>

法政大学のウェブサイトを開いていただき、オレンジのインデックスの「保護者の方へ」をクリックしていただいてもアクセスできます。是非一度ご覧になってみてください。

